

第 1 4 回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成30年12月27日（木）午前10時0分
- 2 閉会日時 平成30年12月27日（木）午前10時42分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
3 番 佐藤 武君 4 番 佐々木雄司君 8 番 治徳 義明君
9 番 原田 素代君 1 2 番 北川 勝義君 1 3 番 福木 京子君
1 6 番 下山 哲司君
1 8 番 金谷 文則議長
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 倉迫 明君
教 育 長 内田 恵子君 総合政策部長 作間 正浩君
総 務 部 長 前田 正之君 教 育 次 長 藤井 和彦君
総 務 課 長 原田 光治君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 奥田 吉男君 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 平成31年1月行事予定について
2) 平成31年3月定例会の会期日程（案）について
3) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（下山哲司君） それでは、皆さんおはようございます。

ただいまから平成30年第14回議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より御挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（金谷文則君） 委員長。

皆さん、大変御苦労さまでございます。

きょうは1年の最後でありますし、それから来年に向けて行事予定をしっかりと決めていただきたいと思いますし、3月の議会を控えての日程調整もございますので、よろしく願いをいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、平成31年1月行事予定について。

議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の31年1月議会行事予定（案）について御説明をいたします。

主なものについて御説明をさせていただきます。

まず、1月7日月曜日、議会広報編集特別委員会の視察を予定しております。視察終了後、編集委員会という日程になっております。

8日火曜日には10時から議員倫理審査会を開催の予定です。

11日金曜日は10時から総務文教常任委員会の開催となります。

16日水曜日、議会広報編集特別委員会。

17日木曜日、産業建設常任委員会。

18日金曜日、厚生常任委員会となります。

22日火曜日は行政視察の受け入れをしております、兵庫県の猪名川町から農業振興についての視察をお迎えする予定です。

25日金曜日は議会広報編集特別委員会となります。

28日月曜日は議会改革検討委員会の開催となります。

30日水曜日が議会運営委員会の開催となります。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） それでは、市の行事予定1月分でございます。

4日、8時10分より仕事始め式、これは2階の大会議室で行います。

それから、11日金曜日ですが、総務文教常任委員会の後、岡山県の市長会議に市長のほうに参加いたします。

20日ですが、赤磐市の消防出初式、10時から山陽ふれあい公園ということになっております。

21日月曜日ですが、和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合等の管理者会議が開催されます。これは終日でございます。市長のほうが出席いたします。

それから、22日火曜日ですが、14時からB＆Gの全国サミットということで、東京で副市長が参加いたします。

23日水曜日から地区の区長会が開催されます。23日は山陽、24日は午前中吉井、夜から山陽・桜が丘西・桜が丘東連合町内会、それから25日ですが赤坂地域、それから30日の熊山というふうに予定されております。

主な行事予定は以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいまの説明について委員さんから何か質疑はございませんか。

○委員（北川勝義君） はい。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 内容へ入るかもしれないけど、ちょっと委員長、内容が入とったら、そのできないのはとめてくれりゃええけど。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） 26日から赤磐市東京2020オリンピック事前キャンプの実行委員会で誘致活動に行かれるということで、もう本当頑張っていたきたいと思うんですけど、2泊4日じゃというんでハードなスケジュールになると思うんですけど、経過というんか今どのような状況になつとるか、議運でもし許せる範囲じゃったら、たしか僕が思うたのは、これは僕が内容をちょっと聞いたんじゃないけど、前はこの委員になってるから、向こうから来てもらうような感じもあったと思うんで、こっちから行くんで、大分ハードルが低くなったんかと、ちょっと現状わかる範囲で結構なんで、今どうこうじゃのうて。もしおえなんたら結構ですけど。

○委員長（下山哲司君） 教育次長。

○教育次長（藤井和彦君） 今、北川委員がおっしゃられましたとおり、12月に全日本に来ていただいて、新しい人工芝を見ていただきながら誘致活動ということで進めておりましたけれども、日程調整がつかず、来日に至りませんでした。その中で1月にニュージーランドのホッケー協会のほうから試合があるので来ないかというオファーがありまして、このたびオリンピック誘致委員会の実行委員会を代表いたしまして、会長、副会長であります市長、議長、教育長、あと担当のスポーツ振興課の職員と4名でニュージーランドを訪問して、ぜひ赤磐市のキャンプの誘致の実現に向けて交渉をお願いしたいというふうに思っているところでござい

す。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

よろしいですか。

○委員（北川勝義君） まあ、よろしくお願いします。

○委員長（下山哲司君） きょうのところは、また委員会でお聞きください。

○委員（北川勝義君） わかりました。

○委員長（下山哲司君） 他に。

佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 1月8日の議員倫理審議会ということで予定が入ってますけれども、前回の審査会の打ち合わせを傍聴する中で、委員長が辞退ということのお話があったと思うんですが、この1月8日の予定はどういう予定をされてるんでしょうか、中身は。

○議会事務局長（奥田吉男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） 今の御質問に対しまして、後ほど議長のほうから御報告があると思いますので、その際の答弁という形でお願いをしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 今、北川委員のお尋ねの件なんですけど、わざわざこちらから誘致に行くっていうのは、かなり確率が高いことだと思っていいんでしょうか。その誘致の可能性が高いから行くのか、ないから是が非でも行くのか。予算を伴うものなので、要するにもうこの間、岡山県内で幾つか決まりましたよね、誘致場所が既に何カ所か。それには入ってなかったわけです、赤磐市は。だけど今回、向こうがオファーがあったっていうことで行くっていうことは、それなりの行ったら手応えがあるから行くのかどうか。ちょっとその辺がよくわからないんですけど。予算も伴うことなので、その辺はどんなふうに思っ行かれるんですか。

○委員長（下山哲司君） 考え方だけ。

教育次長。

○教育次長（藤井和彦君） このキャンプ地誘致につきましては、ほかの自治体につきましても海外に行きましてトップセールスということで、ほかの自治体でも市長あるいは議長というトップセールスで交渉している、その中で赤磐市としても熱意を見せるということで、今回訪問したいということでございます。

○委員長（下山哲司君） よろしいか。

本日はまあ。

○委員（原田素代君） それ以上はいいです。

○委員長（下山哲司君） はい。他にございませんか。

なければ、次に進んでよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは続きまして、協議事項２番目、平成31年３月定例会会期日程（案）について。

議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料の平成31年赤磐市議会スケジュール表２月、３月の案について御説明をいたします。

３月定例会を２月21日木曜日に開会する日程で組ませていただいております。

その関係から、１週間前の２月14日木曜日13時30分から議会運営委員会、引き続き議会全員協議会の開催となります。

この関係で、一般質問通告の受け付けは２月4日月曜日８時30分から始まり、２月8日金曜日17時を締め切りといたしております。

３月定例会は２月21日と22日が本会議で議案の上程となります。25日月曜日から27日水曜日までの３日間を一般質問とし、28日を予備日としております。３月1日金曜日は本会議で質疑、委員会付託となります。４日は予備日となります。

各常任委員会につきましては、５日から総務文教常任委員会、６日に厚生常任委員会、７日に産業建設常任委員会となります。８日を予備日といたしております。最終日を18日月曜日とする案といたしております。

日程を組むに当たりましては、中学校、幼稚園等の卒業式がございまして、若干の日延べになつとるようなところがあるかと思いますが、御了承いただきたいと思います。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明がございました。

委員さんから何か質疑はございませんか。

○委員（原田素代君） 質疑じゃないけど。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） スケジュールが間違ってますか。２月18日は、これは祝日になるようですが、これは平日ですね。

○委員長（下山哲司君） 月曜のところが黒ですね。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

なければ……。

○委員（北川勝義君） ちょっと今ので。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 全体のことで、議運じゃけえ聞かせてもらうんじゃけど、定例議会のときには委員会でも昼食をとりようりますわな、少のうても。それで、今いろいろ思うたんじゃけど、本会議のときもやるんじゃけど、結果、御飯を食べたら終わりじゃというときがありますが、最後のときやこう。最後というたら中のときに。それでもう終わるんじゃったら、1時半に再開して終わるよりは、できたらと思うた。それは難しい話ですか、それを議運の中で聞くのは。やっぱり弁当をとって、定例のときにはこうやらにゃあおえんというのが、本会議のときは特に、委員会は何とかできるかもしれん、定例はどんなんですか、それ。

○委員長（下山哲司君） それは議会運営のことですから、ここでお話しして結構なんですけど。

○委員（北川勝義君） どんなですか。

○委員長（下山哲司君） 一応、今までの流れとしましては、定例会のときはどういう案件になるかわからんし、一応お昼で終わろうとも、とるということで今までにはなっとるんで。

北川委員。

○委員（北川勝義君） それはよう山田議長のと時から……。委員会のときに、えろう終わったという、この間の北衛が11時から始まって、11時13分じゃったかな。瞬速じゃったんじゃ、早うて、時間が。それでもう、そういうなのがあるんで、じゃったらわざとそこで、次のまで時間潰しみたいなことになりますが。じゃったら本会議は定例のと、本会議はもうせにゃしゃあねえと思うんじゃけど、委員会のときはもうできたらそれは、持って帰ることになるとおえんのんじゃろうかなと思うてな。いや、僕は、勝手に総務文教のことを言わせてもろうたら、今、下山委員が笑ようるけど、やりようるときに、12時40分までする場合もありますわな。そのかわり昼を出さずにもう定例じゃないときは終わってもらようるんです。やっぱり従来どおり、今委員長が言われたようにせにゃおえんということかな。

○委員長（下山哲司君） はい。議会運営上は時間を延長して、ほんなら12時半で終わるということはできんので、それは委員長の采配でやられることなんで、議会運営上はやっぱり規定どおりやらせていただかんと。

○委員（北川勝義君） 定例のときは仕方がねえという、とりかたじゃな。

○委員長（下山哲司君） はい。そういうふうに御理解をいただきたいと思います。

よろしいですか。

○委員（北川勝義君） よろしい。

○委員長（下山哲司君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項3番目、その他について。

委員または執行部から何かありましたら、御発言をお願いいたします。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） それでは、ちょっと私のほうから皆さんのほうへその他としてお話をさせていただきたいと思います。

まず、先ほどこっと話がありましたけども、議員倫理審査会につきまして、原田委員長のほうから辞任の願いがありまして、それを私のほうで受理をいたしまして、許可をいたしております。

それで、そうなりますと、6人ということで決めておりました人数に欠員ができるということになりますので、この間の全協を含めてのお話の中では、各常任委員会から2人ずつで6人というふうにはお話をしたんですが、ここでもう1度、議運のほうでどのような形で、欠員のままでいくのか、補充をしていくのか、補充をするのであれば、どういう形をするのかということの再確認をちょっとお願いしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） それでは、今議長からお話がありました案件について、皆さんの御意見を。

北川委員。

○委員（北川勝義君） 前の進め方というんか、今後の進め方ということで会議をしたときにそういうことになったんで、そのときにはもう厚生から1人選んでもらうという話になったんで、数が少ない、これがほかの補充できんのんじゃないねえんで、6人で初めから提案しとるんで、6人で、よそから出るんじゃないのうて、厚生からの話をしていただかなんだら、よその口を挟むのは、口を挟むってちょっと失礼、ちょっとおかしいな。ぜひ厚生から1人行ってもらいたい。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） このたびは委員会が設置されてからの辞任ってことで、大変皆さんに御迷惑をかけたことをおわびしたいと思います。皆さんのほうで同意をしていただいて、辞任という形をとりました。

うちの委員会のほうでも、前提として委員会からもう1人選出をと思っておりましたら、御自身のほうからぜひやりたいと意欲を持った方がいらっしゃって、委員会として推薦を決めている議員がおります。よければ、ここでお名前を紹介して、委員会としては次の方を推薦したいと思っています。

○委員長（下山哲司君） はい。議長、そういう申し出がありますので。

○議長（金谷文則君） はい。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） それでは、6名ということで、厚生の方で補充をするということで、済みませんが、じゃあその方のお名前をどなたか報告をいただきたいと思います。

○委員（原田素代君） はい。厚生の方から申し出がございましたので、委員会としてもお願いすることにしております。

○委員長（下山哲司君） それでは、議長、そういうふうには。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） はい、わかりました。

それでは、私のほうで指名することになっておりますので、ここで議員倫理審査会の委員に光成さんを指名させていただきます。

他の、きょうおいでになってない議員さんのほうへは、書面にて通知を後でしたいと思いますので。書面でいいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金谷文則君） そういうことでさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） はい。それでは、そのように取り計らいをよろしくお願いいたします。

○議長（金谷文則君） 続いてお願いします。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） それからもう1つ、議会改革検討委員会のほうから、一応基本条例についてということと一般質問の方法についてということで、議長のほうへ意見書が出ております。それで、この基本条例については、いろいろ準備したり調査のことがあって、もうちょっと時間をいただいて、どのようにお願いをしたいか、またこの議運のほうへお話をしていきたいと思います。

それからもう1つ、一般質問の方法については、この間、御意見もいただいておりますように、初回を一括質問、一括答弁で、再質問以降を一問一答として、質問回数の限りの撤廃と、再質問以降の答弁場所を自席に変更するということが言われておったんですが、まず議会としての形式ということもありますので、まず最初、今回は席のほうは自席ということじゃなくて、前に出てやっていただいて、問題は時間短縮ということなんです、その件はそれぞれの答弁したり質問する内容の中で、かなりそれはできることだろうと思いますので、まず今回につきましては初回を一括質問して、一括答弁をいただいて、その後を一問一答という形で30分の時間内でやっていただくというふうなことでお願いをしたいと思います。

○委員（原田素代君） 3回がなくなるんですか、回数を制限。

○委員（北川勝義君） 制限なし、制限なし。

○議長（金谷文則君） はい、制限なしです。

○委員（北川勝義君） 1回目はあるんじゃないだろう。1回目は全部じゃろう。

○議長（金谷文則君） はい。1回目はもう全部ということで。

○委員（北川勝義君） ちょっといいですか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 組合議会へ行ってきた、組合議会へ行ったら、うちと同じようなことしようたんじゃけど、一般質問はやっぱり今度は議員のほうを向いて、最初はしょんじゃ、こう、組合議会は。一般質問、こうな、議員へ。執行部はこっちへおるわな、こう。うちはそれがおえんからって、こう直したわな。執行部へ向いて、くるっとう。結果的にそうなる、後のことはええんじゃ、後は自席でしょうるのは短時間になりようからええんじゃけど。ちょっとそういうときに、組合議会のことまでここで言う話じゃねえんじゃけど、組合議会はそうしようるけえ、一般質問はこっちから僕はもう、まだやりようって抵抗があって、こっちから聞いたらいけんのんじゃないかなと思うて、最初の1回目だと思うたんじゃけどな。やっぱり質問席じゃねえと。

○委員（原田素代君） それがおかしいからって変えたんじゃないですか。

○委員（北川勝義君） いや、そうなんじゃけど、よそで聞きようたら、よそはやっぱりそうなんじゃ、こう津山で、こう向いて、逆にこっちからいきよんのはうちだけみたいのような感じで、うちのほうが何かおかしいかなと思うて、ちょっと今、下山さん、僕はもうよそを聞きよったら、下山さんも前へ……。

○委員長（下山哲司君） それは、うちのほうがええと思います。

○委員（北川勝義君） ええかな。まあええわ、ほんなら。

何かちょっとおかしいような感じで、よそを見たらそうなのとったけえ、まあよろしい、ほんなら、わかりましたということで。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） それで、お願いがあるのは、これ委員長、議長が言われたんじゃけど、皆さん何かおかしいのがあって、答弁書を僕は大概最初じゃから答弁書は見えんわな、僕は見ようらんけえ。答弁書をもろうて、答弁書から質問しようる者もおったり、それから答弁書にいうて質問しょんじゃ。答弁書やこうもらうようになってねえ、原則的には議会じゃ、あの中へ発言したのが議事録じゃから、答弁によって、その答弁についての質問じゃねえといけまあ。答弁書の質問というたら、ちょっとこれは、何かあれを思うた。議長は気がついた、委員長も気がついた、これだけちょっと言葉足らずかもしれんけど、削除というか、ちょっとこれだけみんなに議員、気をつけてもらわんだらおえんのが、さっきの答弁書を見て、2回目からの質問をして、答弁書を見て言うこともおえんし、2回目のちょっとおかしいかないうて、それを直さにや何かうちが笑われるでそれは全国で、と思うたんです。言ようたら、前

に言うた。

○委員長（下山哲司君） この次の全協で、議長が今の件を皆さんにお示しするんで……。

○委員（北川勝義君） おかしкаろう。

○委員長（下山哲司君） そのときにきちっと。

議長。

○議長（金谷文則君） 先ほど北川委員からも言われました件につきましては、私のほうからまた次の議会の前の全協の席で再度お願いをするようにさせていただきます。

それで、先ほど申し上げました一問一答のやり方、これについては3月の議会からお願いをしたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） それでは、全協の席で取り計らいのほう、よろしくお願いいたします。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 先ほど、一問一答でいくということで、答弁については、それぞれ登壇してもらうということなんですけれど、一問一答であるならば、なおさら例えば、これは今答弁されたことで、これはどうなんですかと言ったら、また一々登壇するわけですよ。

○委員（北川勝義君） 登壇せん。

○委員（佐藤 武君） えっ、答弁は。

○委員（原田素代君） 違う、執行部が。

○委員（佐藤 武君） 執行部。

○委員（北川勝義君） 執行部は自席でするんじゃないねえん。

○委員（佐藤 武君） いやいや、登壇と言われたでしょう。

だから、なおさらのこと、その時間がかかると思うので、答弁の仕方についても今後も検討をしていくほうが私はいいと思います、という提案です。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） だから、先ほど申し上げましたように、今回3月については、そういうふうにやってみて、それぞれ答弁者、質問者のほうも努力をした質問の仕方、答弁の仕方をしていただいて、それでもおかしいようであれば、当然今、佐藤さんのほうから言われたようなことも検討しなきゃいけません、まず3月の議会については、皆さんで一遍トライアルということでやっていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） 検討委員会の趣旨を踏まえて、取り計らいのほうをよろしくお願いいたします。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 議場でも申したように、コピペの状態の答弁書が出てくるという驚き

の対応が今回ありました。議長に見せると言って、まだ見せてませんけども、かなり緊張感がないといえますか、やはり質問者の意向を確認していただければいいわけですし、同様の質問が当然幾らか重なることもあると思うんですけれども、そこに対する執行部の何というんですか、熱意というか、もう全くそこではないですね。コピペでそのまま、北川議員の答弁書っていつくつついてくるわけですから、私の中に。こういうことは、してほしくないと思っているんです。そしたら、部長はこちらの側で、執行部側でそういう申し合わせがあるんだって言うんですよ。もう同じ質問に対しては、同じものを張りつけていいのだと。それはちょっと、そもそも皆さんの構えというか、これからどうやっていこうかっていうような熱意のある議論をするべき、今いろいろ改革している議会上の一般質問のやりとりにしても、余りにちょっと緩んでる、そう思っているんですが、いかがでしょうか。

○委員長（下山哲司君） この件については、私も多々気になる部分があるんで、議長と執行部のほうで再度検討、話し合いをしていただくということで、きょうのところは。

議長。

○議長（金谷文則君） 先ほどの件ですけども、これはいつだったか、ちょっと時期的なことは定かじゃないんですが、同じ質問がある場合に効率をよくするために、1日に2人、3人同じようなことであれば、先に言った人と同じ答弁ということになれば、それをこのときにお話をしましたけどもというようなことで、その参考に、そのときに答弁された内容をつけて出したらいいんじゃないかということが確かにあったと思います。それで執行部のほうはやっていると思いますので、これから先、今、原田委員からもお話があったので、それから委員長のほうからもありましたので、一遍執行部とどういうふうなやり方をしたらいいのか、ちょっと調整させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 要するに執行部のほうから、こちらの質問の意図をどう受けとめようかっていうことをしっかりと事前に時間があるわけですから、そのために。聞いてほしいわけです。それで、中には非常に熱心に聞いてくださる部長さんもいらっしゃるし、それはいろいろ分かれるので、その辺も含めて、ぜひ熱いディスカッションをしたいと思ってますから、そういう受けとめ方をさせていただきたいと補足しておきます。

○委員長（下山哲司君） とりあえず、きょうのところは議長と、はい。そういうことで、議長、よろしくお願いします。

○議長（金谷文則君） 続いてお願いします。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） それからもう1つ、これは12月の定例会の中での特に委員長報告の中でちょっとあったんですが、質疑に対する答弁の中で、事前審査と思われるようなお答えをされる部分がありました。それが事前審査をするということにはなっていないので、そこら辺の

ところは定例会を含めて注意していただきたいというふうに申し上げておきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕がコンビニの印鑑証明とか発行のときに委員長に聞いたことなんじゃ。聞いたら、何もねえのに何で反対ならと言うたら、今回はありませんでしたというて、最後もあなたが断りでそういうことがあったから。

○委員（原田素代君） 反対討論です。

○委員（北川勝義君） そして言われたとき、言われた、ええんで、そのときのいわゆる委員長報告の中で、その前に事前にやったんじゃというて言われたから、前にやった、事前という言葉を使うたかどうかわからんけど、9月とか10月とか11月にやったというのは、僕には言われたわな。そう言うたから、そのとき僕ちょっといけまあというて聞こうと思うたけど、もう3遍じゃ、聞いてもおえんと思うて、よろしいと言うて、もうやめたんじゃけど、そう思うたけど、じゃけえちょっとそれが私もあのとき気がつかないだけん、議事録は削除すりゃあええかなというて言おうと思うたけど、もう済んでやりようたから、もうできなんだんで、ちょっとそのことを議長が言われたんじゃねえかなと思うた。

○委員長（下山哲司君） ちょっと待ってください。

そのことは私もそう思うて聞きようたんですが、事前に協議するのと審査するのは違うんです。

○委員（原田素代君） そうなんです。

○委員長（下山哲司君） その辺のことをきちっと言葉でしていただかんと、こういう問題が起こるんで。

○委員（原田素代君） そうです、わかりました。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 審査ではないんです。要するに、何カード……。

○委員長（下山哲司君） いやいや。

○委員（原田素代君） だから、協議なんです。

○委員長（下山哲司君） 原田委員、ちょっと待ってください、待ってください。

○委員（原田素代君） いやいやいや、住民基本カードの……。

○委員長（下山哲司君） 今、先に私が言うたんじゃから。

○委員（原田素代君） だから、おっしゃるとおりです。協議なんです。審査をしてるわけじゃないんです。協議で大変盛り上がりしました。協議の中で結論が出たので。

○委員長（下山哲司君） 原田委員、ちょっと待ってください。

○委員（原田素代君） 私が本会議場の。

○委員長（下山哲司君） 待ってください。

○委員（原田素代君） 答弁の仕方が悪かったと思います。

○委員長（下山哲司君） そうです。

○委員（原田素代君） それは認めます。

○委員長（下山哲司君） はい。待ってください。

今も言うたように、きちっとそのことが伝わるように、審査と協議が勘違いされないような言動をしてください、これからは。

そういうことで。

議長。

○議長（金谷文則君） いろいろとあろうかと思いますが、お互い気をつけていきたいと思っていますので、ぜひ皆さん御協力のほうよろしくお願いしたいと思っています。

○委員長（下山哲司君） はい。

○議長（金谷文則君） それからもう1つ、委員会中継がこの12月からありましたので、中には視聴者のほうから、市民の方から幾らか御意見等がございました。幾らかそういう御意見もあって、例えば声が聞きづらいとか、それから聞こえる人は聞こえるんだけど、聞こえない人、それからマイクのやっぱり位置が悪いんじゃないとか、それから委員長采配がいい人もあったと。じゃけど、もう少しというところもあったりしたので、市民の方はいろいろ見とられるなあと。だから、議事進行をスムーズにやっていくということが一つの委員長、副委員長の仕事だと思いますので、12月に初めてやったことですから、これから先にいろいろ勉強しながらやっていっていただきたい。特に私も議長をしょうる中で、議長としてもそういうことがあろうかと思っていますので、十分市民の方の御意見に耳を傾けて、反省しながらやっていきたいというふうに思います。

それから、事務局のほうにもまたちょっといろいろ連絡があったりしたことがありますので、先に委員の皆さん方に何かそういうことでお聞きになつとられることがあったら簡単にお話をいただいて、終わりましたらうちの執行部がちょっと聞いたことを話させていただければと思いますので。執行部じゃなくて事務局のほう、よろしくお願いします。

○委員（原田素代君） あの。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 長年の課題ですけど、傍聴者の方からの声、とにかく声が届かない。マイクが下にあるから、こういう状態で聞いているそうです、肉声が飛ばないから。だから、もうちょっと、せつかく傍聴、議場……。

○議長（金谷文則君） 今、インターネット……。

○委員（原田素代君） いや、ですから同じですよ。議場でも傍聴者の方がそういうことを長年言っていらっしゃるのを、どうして改善がなかなか進まないのかなと思って。傍聴者に来ていただきたいというスタンスで呼びかけてるわけですから、やっぱり傍聴者がもうちょっと、

何かあの辺にぼんぼんとつけてください。

○委員長（下山哲司君） はい。その件はまた議長と御相談させていただきます。

○委員（北川勝義君） ちょっと。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 原則として、電話とか意見を言うのは聞いたがな、ちょっとどこが議長、今言うた、ええ委員会もあった、悪い委員会があったというて言われた。僕はインターネットを聞きようときに言うてくれて、北川君、えかった、えかったというて話もして、せえであんたは委員長じゃけん、言わんでもええんじゃねえん、ほっときゃあと言うけえ、それは言わなんたら、質問がなかったら、僕は委員長としての立場で言わせてもらいよん。時々、これ永徳さんに副委員長、言うてくれとこう言うて、何にも、さっきの委員長報告ではありませんというて、質問はありませんでしたというたら困るんで、ああ、それだったら、わかった、わかったというて言うけん、質問がなかったらもう答えに困るんで、条例の何かじゃったら問題ねえ、ぱぱっとええんじゃけど、なったときがあるんです。そういうときにお願いをせにやおえんのんで、言うてくれんのは、つい言わにやおえんなというのがあったんで、そこらのところは気をつけにやいけんけど。

それとちょっと今言われたように、声のほうがやっぱり聞き取りにくいというて言われたのはちょっとあるんで、これはもういたし方ねえ、改修でもして、耐震でもして、ええできる場所になりゃあ、それまでしゃあねえと思うんです、今これをしょうて。それから、今、原田委員が言うた、僕もあそこへ、僕はまあ吉井の役場のところ、よう下山さんもよう傍聴しちゃうた、これは好きなと言うたらおえんけど、休みを出してよ、僕は個人的に。今これを見たら、ここの聞こえにくいんじゃ、あそこ後ろ。できたらテレビの何かこう、耳の悪い人がちょっとこの辺に置いたら聞こえるが、よう。あるが、スピーカーみたいなんが。あれでも何か置いちゃるか、余りこっちがやかましゅうなったらおえんけど、結構傍聴へ来られてる方、ちょっと言葉は悪いけど、お年を召されて耳の遠い方が多いんじゃ。じゃけえ、ちょっとそれを今言うのは方法論で、議長、またやり方ができるんじゃねえかなという一つの、せっかく聞きに来て聞こえなんたらおえんのんで、そこらはちょっと考えて。

○委員長（下山哲司君） その件は、先ほど今議長に言うたんで検討を……。

○委員（北川勝義君） ということは今、せえで、何か産建のは何かみんなが聞いたような、聞いてねえというようなんが産建のとき、最初のデモしたときありますが、あれを見たときの感想を言わせてもろうたら、どうもあれじゃいけんなあ、した意味ねえというような、もう。デモを見たときですよ、全協で見たときの。したが、産建のそれで。あれじゃあ、ちょっと不足じゃったな。

○委員（原田素代君） 声が届かない。

○委員（北川勝義君） 声、最初のほうが届かなんだが。ちょっと気分的によろしゅうねえな

と思うだけで、何とかそれを改良してほしい。ここでもう、こういうことを言うたら、委員長、変な話、ついでに総務文教の中で言わせてもろうたら、誰が悪いとかというんじゃないんです。一番声がよう通るのは原田さんやこうはよう通りようる、これは。ここへおって、職員でも通って入る方と、全然ちょっと大きゅう声を言ってくれって何遍も言うて、お願いしようときがあるんじゃない。そこが、これが悪いんか、マイクの当て方が悪いんかようわからんのじゃけど、そこらは一遍精査してもろうたほうがええんじゃないかな。特にインターネットに流すんじゃないかな。質問だけ聞こえても答えが出なんだら、はっきりわからんけんと思うて、ちょっとそう思うたんです。

以上です。

○委員長（下山哲司君） それでは、事務局。

事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） 事務局のほうでお聞きした内容について、執行部には執行部に別途で依頼を申し上げておりますので、今回は議会側のことのみ申し上げたいと思います。

まず、議員さんのマイクのオン、オフについて、できましたら委員長進行の中で、マイクのオン、オフについて確認のほう、指示をお願いしたいと思います。

それからもう1点は、委員長の許可を得ないで発言をされるようなケースが間々あるので、確実に委員長の発言許可を求めて発言をしていただくということを基本にさせていただきたいと思います。

それから、質問と答えがかなり複雑になるようなケースも出てくるので、基本的には一問一答での対応をしていただけると、聞きようるほうもわかりやすいという御意見をお聞きをいたしております。

今後、皆さんと御協議しながら、改善の方法をというふうに考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

○委員長（下山哲司君） はい、ありがとうございました。

暫時休憩します。

午前10時34分 休憩

午前10時35分 再開

○委員長（下山哲司君） それでは、再開いたします。

執行部のほう、ありませんか。

○総務部長（前田正之君） 特にございません。

○委員長（下山哲司君） 委員さん、他にありませんか。

なければ、次です。

○委員（北川勝義君） ちょっと1個だけ。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 戻るんじゃないけど、日程の一般質問が25、26、27になっとるんで、これは3日間にわたると13人以上になるということを言っとるんじゃないけど、ならなんたらやっぱりこれで休んでいただけるということで2日でいけるが。それで、例えばこの間と同じように13になったら、5、4、4とかをやっていただけるような感じで考えときゃええんですな。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） それはまた次のときで。

○委員長（下山哲司君） その件については、その都度ここで協議させていただきますので。

○委員（北川勝義君） ええですな、それで。はい、わかりました。

○委員長（下山哲司君） 続きまして、それでは3月定例会の一般質問について、市長の施政方針についてということで前回やらせていただいたと思うんですが、質問項目を白紙で、題目だけでお願いして、中身は触れないで、一般質問を聞いてから答弁していただいてということでも前回やらせてもろうたんですが、今回もその方法でよろしいですか。前回3人だったかな、2人です、はい。そういうことで。

○委員（北川勝義君） どういうことですか。

○議会事務局長（奥田吉男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） 昨年の3月のときに市長の施政方針についての一般質問を認めようという形でスタートをしました。それで施政方針がされる前に、もう一般質問が出ておりますので、質問項目の部分には施政方針についてということで、内容については書かないという形で行っております。執行部のほうの当然答弁書もございませんよと、聞いて質問のほうをお願いしますということです。同様にやれば、その同様に御確認をお願いしたいと思います。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕は、これは前から思ようたんじゃけど、ずっと思うんじゃないけど、本来は施政方針を聞いて、それから一般質問を出すべきなんじゃ、施政方針も含めて。事前に出してやりようるから、答弁書もらようるから、隣の和気町じゃったら施政方針を聞いて出しようるわけじゃ、一般質問を出すという。その日にちが物すごく短うなるわな、なるけんあれなのかもしれんけど、とりあえず去年3月から決めてやってみて、2人ほど出たんじゃから、同じようなという意味でもうちょっとやってみりゃあええんじゃねえん。それやって、また今度は改善せにゃおえんというたら、今回はもう答弁席を執行部は相談してやるということを一応決めとるんじゃないから、それを見て、それもあわせて来年度ぐらい、来年度と言うたらおえん、次のときぐらいに考えりゃあええんじゃねえん。一遍それでやってみりゃあ、急にまた変えるばあしょうたら、僕らわからんけん、前へ登壇しょうたら、違うがなというて帰ってこにゃ

いかん、格好悪いことになるんで。

○委員長（下山哲司君） それでは、その件につきましては、施政方針についてという記入をしていただいて、発言の要旨の欄は空欄で提出をお願いするということで、昨年同様でよろしくをお願いしたいと思います。

それでは、次に行かせていただきます。

議会報告会での要望、提言等についてということで、用意しております。議会報告会班長会議座長の私より説明をさせていただきます。

議会報告会実施要綱では、議会報告会で出た要望、提言等については、議長から各委員会に周知し、必要と認めるものは市長に文書等で報告を行うこととなっています。

先日の議会全員協議会で実施報告書を取りまとめたものをお配りさせていただきましたが、その中から各委員会宛てに分類したものを本日、議長よりお手元に配付させていただいておりますので、御確認をいただき、1月の各委員会のときに御協議をよろしく申し上げますということで、お願いしたいと思います。

分類方法については、昨年と同様で、内容の確認にとどめるもの、常任委員会として調査するもの、市に対して伝達するものに分類していただき、市に対して伝達するものについては議長に報告し、議長から市長に報告することとなっていますので、よろしく申し上げます。

これについて何か御意見ございますか。

○副委員長（福木京子君） ちょっと1つ。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○副委員長（福木京子君） きょう、これが手元にあるのは、厚生委員会の分だけなんです。

○委員（北川勝義君） それは、わしは総務だけじゃ、こちらは。

○副委員長（福木京子君） いやいや、だけど、それ本来は3つやっぱり出たほうがいいと思いませんか。

○委員（北川勝義君） それは全部もろうたがな、この間。あの中へ入っとる。

○副委員長（福木京子君） あっ、これはまとめただけ……。

○委員（北川勝義君） まとめただけ。

○委員長（下山哲司君） そうそう、分けたの。

○副委員長（福木京子君） 分けただけ。

○委員（北川勝義君） ええんじゃろう。

○委員長（下山哲司君） 内容はこの前……。

○委員（北川勝義君） いや、下山さん、総務は総務とか、ええんじゃろう。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○副委員長（福木京子君） はい。

○委員長（下山哲司君） 他にありませんか。

北川委員。

○委員（北川勝義君） このことかな。

○委員長（下山哲司君） はい、このことです。

○委員（北川勝義君） このことはよろしい。

○委員長（下山哲司君） その他、何かありますか、まだ。

○委員（北川勝義君） その他、ちょっとあったんじゃないけど。

○委員長（下山哲司君） あれば、御発言をお願いしたい。

○委員（北川勝義君） 思い出しました、済いません、失礼。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 勝手なことばあしいうるかもしれないが、総務は毎年やるということで、12月のときに委員会が終わったときに、職員と委員会に出る方と最終的に懇親会、当然割り勘、皆めいめいの負担でやるんです。話もできて、毎年和気あいあいできょんですけど、いつも議会が12月にするとかダブりょうたことがあって、今回してくれなんでえかって、3月18日が議会の最終日で、18日がええとかどうか言ようるんじゃないかねえ、やれということばあ言ようるんじゃないかねえじゃけど、これでこういうことを言うたらおかしいですけど、長年赤磐市で尽力された職員もやめられるんで、そのときには3月18日がええかどうか、仮に議長、執行部でもそれはせんと言うたら別だけど、相談してやっていただきゃあええんじゃないかねえかな、やめられる人もここにせんべつ、いろいろそういうようなことをせんでもようなるからと思うとるんですけど、それはまあ議運でやれという話じゃねえんじゃないけど、ちょっと今思うたんで。

○委員長（下山哲司君） はい。検討課題ということにさせていただきます。

他にございませんか。

なければ、これでしまいたいと思いますが、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、もうないようですので、以上をもちまして第14回議会運営委員会を閉会としたいと思います。

お疲れさまでした。

午前10時42分 閉会